

2 主要業種の動向

(1) 鉄鋼業

- ① 生産（付加価値額ウェイト981.1 生産19業種中3位）
2019年の生産は97.2で、前年比3.3%減と3年ぶりの低下となった。
これは、鉄系熱間鍛工品などが上昇したが、
特殊鋼熱間圧延鋼材、鋳鋼品などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1071.6 出荷19業種中3位）
2019年の出荷は95.9で、同2.7%減と2年連続の低下となった。
これは、軌条・外輪、鉄系熱間鍛工品などが上昇したが、
特殊鋼熱間圧延鋼材、冷延電気鋼帯などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト3458.7 在庫18業種中1位）
2019年の在庫は105.9で、同10.1%増と2年連続の上昇となった。
これは、軌条・外輪、H形鋼などが低下したが、
鋼半製品などが上昇したことによる。

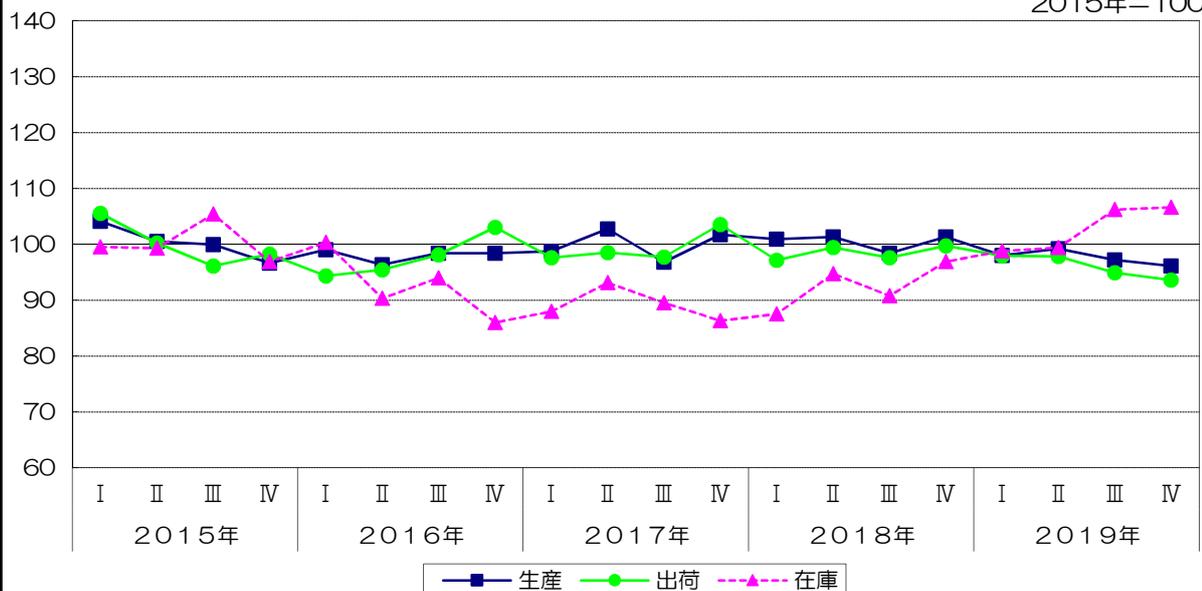
鉄鋼業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年				
						I	II	III	IV
生産	1000	97.6	100.2	100.5	97.2	98.0	99.2	97.2	96.1
前期(年)比	0.8	▲2.4	2.7	0.3	▲3.3	▲3.3	1.2	▲2.0	▲1.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.4	▲3.3	▲1.7	▲4.8
出荷	1000	97.6	99.4	98.6	95.9	97.9	97.8	94.9	93.6
前期(年)比	▲1.8	▲2.4	1.8	▲0.8	▲2.7	▲1.8	▲0.1	▲3.0	▲1.4
前年同期比	-	-	-	-	-	0.6	▲1.1	▲4.0	▲6.5
在庫	98.5	86.4	86.0	96.2	105.9	98.8	99.4	106.2	106.6
前期(年)比	▲3.7	▲12.3	▲0.5	11.9	10.1	2.0	0.6	6.8	0.4
前年同期比	-	-	-	-	-	12.9	4.2	18.1	10.1

鉄鋼業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト501.5 生産19業種中8位）
2019年の生産は99.6で、前年比5.4%減と3年連続の低下となった。
これは、鉄骨などが上昇したが、
ガス湯沸器、飲料用缶などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト287.3 出荷19業種中10位）
2019年の出荷は97.7で、同4.2%減と3年連続の低下となった。
これは、鉄骨などが上昇したが、
ガス湯沸器、スチール・ステンレス製建具などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト656.3 在庫18業種中4位）
2019年の在庫は75.1で、同19.7%減と3年ぶりの低下となった。
これは、ガス湯沸器、金網が上昇したが、
飲料用缶などが低下したことによる。

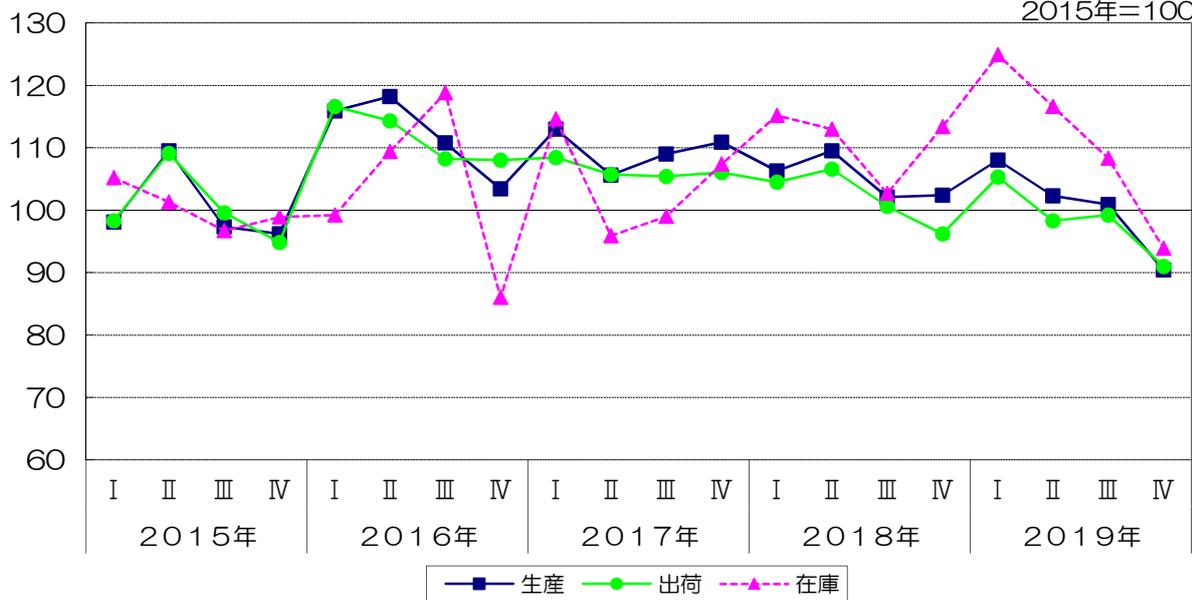
金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2019年			
						I	II	III	IV
生産	100.0	112.4	109.4	105.3	99.6	108.0	102.3	100.9	90.4
前期(年)比	7.1	12.4	▲2.7	▲3.7	▲5.4	5.5	▲5.3	▲1.4	▲10.4
前年同期比	-	-	-	-	-	3.6	▲9.4	▲1.6	▲14.6
出荷	100.0	111.9	106.2	102.0	97.7	105.3	98.3	99.2	91.0
前期(年)比	7.8	11.9	▲5.1	▲4.0	▲4.2	9.5	▲6.6	0.9	▲8.3
前年同期比	-	-	-	-	-	0.5	▲7.5	▲1.3	▲8.4
在庫	82.8	71.9	89.2	93.5	75.1	124.9	116.6	108.3	93.9
前期(年)比	▲5.0	▲13.2	24.1	4.8	▲19.7	10.1	▲6.6	▲7.1	▲13.3
前年同期比	-	-	-	-	-	14.2	5.0	4.8	▲19.7

金属製品工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(3) 汎用・生産用機械工業

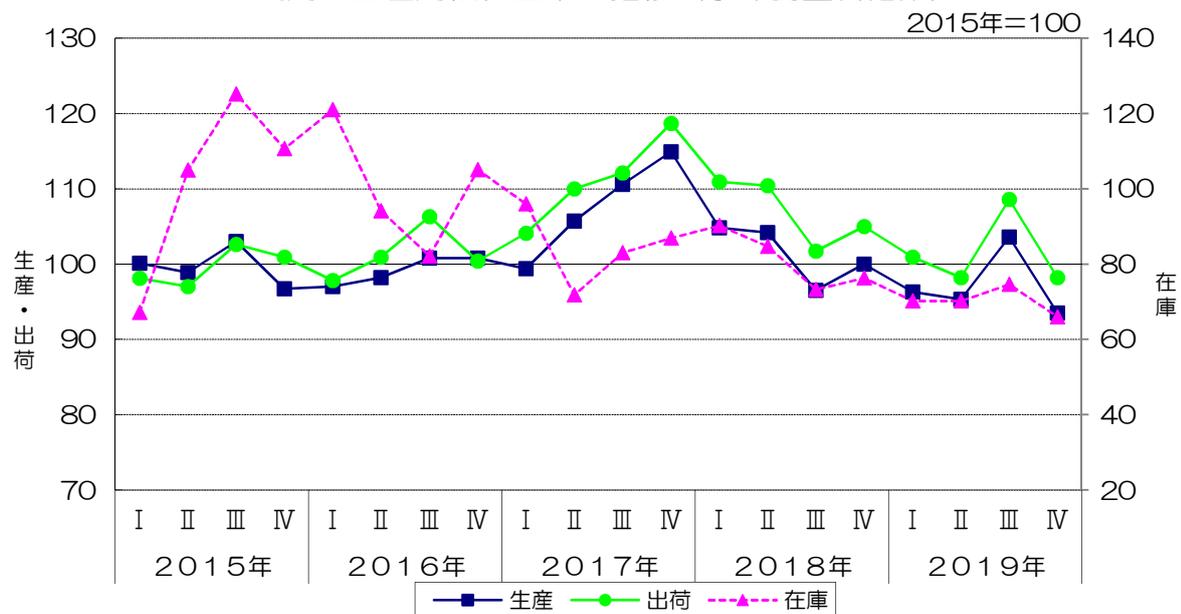
- ① 生産（付加価値額ウェイト832.1 生産19業種中4位）
2019年の生産は97.3で、前年比3.9%減と2年連続の低下となった。
これは、クレーン、ショベル系掘削機などが上昇したが、
フラットパネル・ディスプレイ製造装置、数値制御放電加工機などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト551.1 出荷19業種中4位）
2019年の出荷は102.0で、同4.7%減と2年連続の低下となった。
これは、クレーン、ショベル系掘削機などが上昇したが、
産業用ロボット部品・付帯装置、産業用ロボットなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト592.2 在庫18業種中6位）
2019年の在庫は70.5で、同14.5%減と4年連続の低下となった。
これは、ダイヤモンド工具、電気ホイストが上昇したが、
ショベル系掘削機などが低下したことによる。

汎用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年				
						I	II	III	IV
生産	100.0	99.4	107.6	101.3	97.3	96.3	95.3	103.6	93.5
前期(年)比	5.3	▲0.6	8.2	▲5.9	▲3.9	▲3.7	▲1.0	8.7	▲9.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲8.8	▲11.3	11.5	▲7.0
出荷	100.0	101.6	111.0	107.0	102.0	100.9	98.2	108.6	98.2
前期(年)比	4.3	1.6	9.3	▲3.6	▲4.7	▲3.9	▲2.7	10.6	▲9.6
前年同期比	-	-	-	-	-	▲10.3	▲13.1	12.6	▲7.7
在庫	112.4	108.6	91.3	82.5	70.5	70.2	70.2	74.6	66.0
前期(年)比	115.7	▲3.4	▲15.9	▲9.6	▲14.5	▲8.0	0.0	6.3	▲11.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲25.4	▲18.8	6.7	▲14.5

汎用・生産用機械工業の推移（季節調整済指数）



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト364.0 生産19業種中12位）
2019年の生産は155.9で、前年比11.8%減と3年ぶりの低下となった。
これは、計数回路などが上昇したが、トランジスタ、混成集積回路などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト245.6 出荷19業種中11位）
2019年の出荷は168.9で、同14.2%減の低下となった。
これは、計数回路などが上昇したが、トランジスタなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト155.7 在庫18業種中13位）
2019年の在庫は2085.8で、同2013.3%増と3年連続の上昇となった。
これは、線形回路が低下したが、トランジスタなどが上昇したことによる。

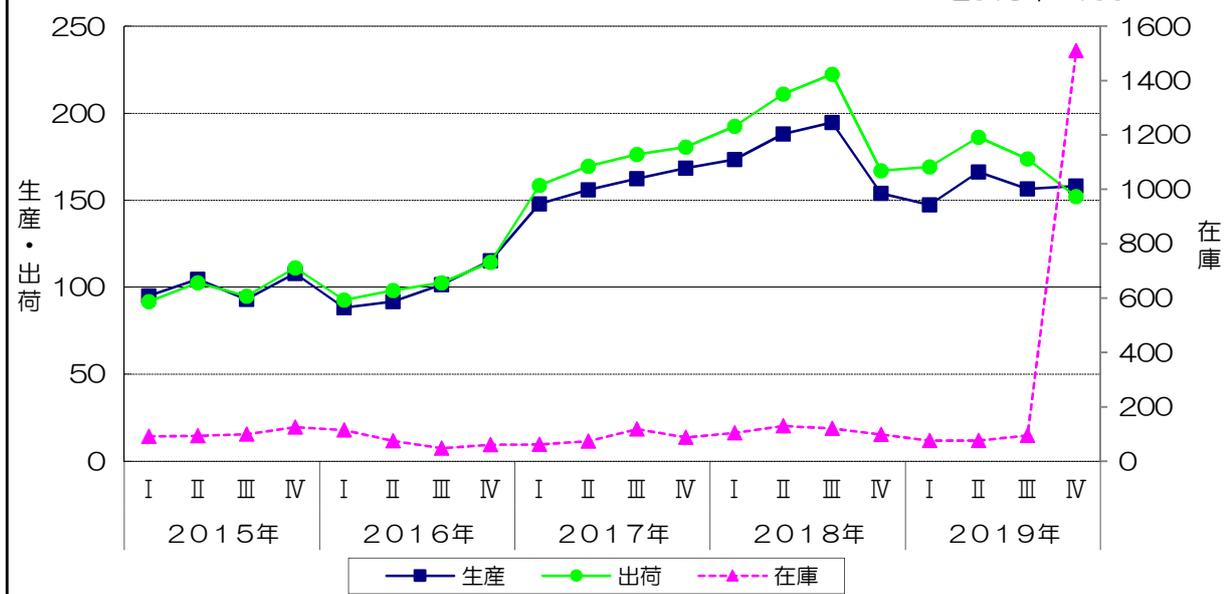
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2019年			
						I	II	III	IV
生産	1000	996	158.4	176.7	155.9	147.4	166.3	156.4	158.2
前期(年)比	33.7	▲0.4	59.0	11.6	▲11.8	▲4.2	12.8	▲6.0	1.2
前年同期比	—	—	—	—	—	▲17.6	▲10.2	▲15.7	▲3.0
出荷	1000	101.9	170.7	196.8	168.9	169.2	186.2	173.8	152.1
前期(年)比	54.1	1.9	67.5	15.3	▲14.2	1.4	10.0	▲6.7	▲12.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲15.5	▲9.2	▲16.4	▲15.6
在庫	140.1	67.3	96.8	98.7	2085.8	76.3	76.0	94.8	1509.8
前期(年)比	47.6	▲52.0	43.8	2.0	2013.3	▲22.9	▲0.4	24.7	1492.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲17.8	▲44.5	▲39.4	2013.3

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(5) 輸送機械工業

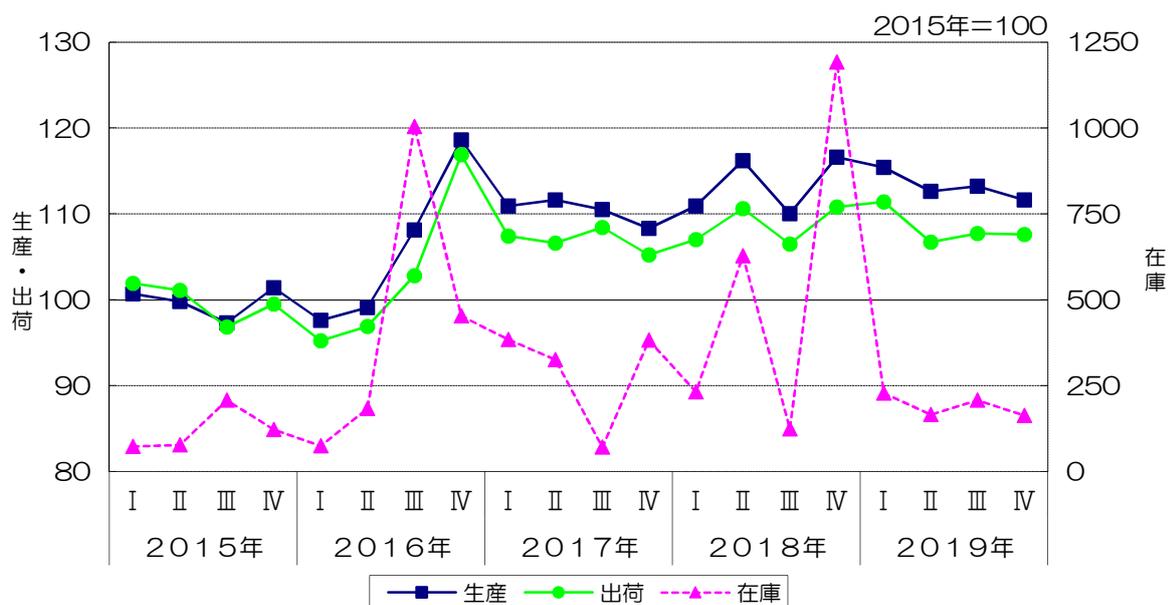
- ① 生産（付加価値額ウェイト2024.8 生産19業種中1位）
2019年の生産は113.2で、前年比0.4%減の低下となった。
これは、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したが、
エンジン、四輪自動車などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト3996.2 出荷19業種中1位）
2019年の出荷は108.4で、同0.4%減の低下となった。
これは、駆動伝導及び操縦装置部品、バスなどが上昇したが、
四輪自動車、エンジンなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト289.4 在庫18業種中12位）
2019年の在庫は232.1で、同82.4%減と2年ぶりの低下となった。
これは、バスなどが上昇したが、
四輪自動車が低下したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	I	II	III	IV
生産	100.0	106.0	110.2	113.6	113.2	115.4	112.6	113.2	111.6
前期(年)比	10.3	6.0	4.0	3.1	▲0.4	▲1.0	▲2.4	0.5	▲1.4
前年同期比	—	—	—	—	—	3.6	▲2.6	2.8	▲4.8
出荷	100.0	103.1	106.9	108.8	108.4	111.4	106.7	107.7	107.6
前期(年)比	8.8	3.1	3.7	1.8	▲0.4	0.5	▲4.2	0.9	▲0.1
前年同期比	—	—	—	—	—	4.3	▲3.9	1.5	▲3.4
在庫	107.9	379.0	310.4	131.98	232.1	228.3	165.6	207.8	163.2
前期(年)比	108.3	251.3	▲18.1	325.2	▲82.4	▲80.8	▲27.5	25.5	▲21.5
前年同期比	—	—	—	—	—	7.3	▲73.7	53.5	▲82.4

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）



(6) 窯業・土石製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト593.0 生産19業種中7位）
2019年の生産は98.5で、前年比1.5%減と3年ぶりの低下となった。
これは、生コンクリート、ほうろう鉄器などが上昇したが、セメント、耐火れんがなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト359.9 出荷19業種中6位）
2019年の出荷は109.7で、同8.1%減と4年ぶりの低下となった。
これは、生コンクリート、プレストレストコンクリート製品などが上昇したが、耐火れんが、セメントなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト605.4 在庫18業種中5位）
2019年の在庫は216.3で、同14.2%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、プレストレストコンクリート製品などが低下したが、耐火れんがなどが上昇したことによる。

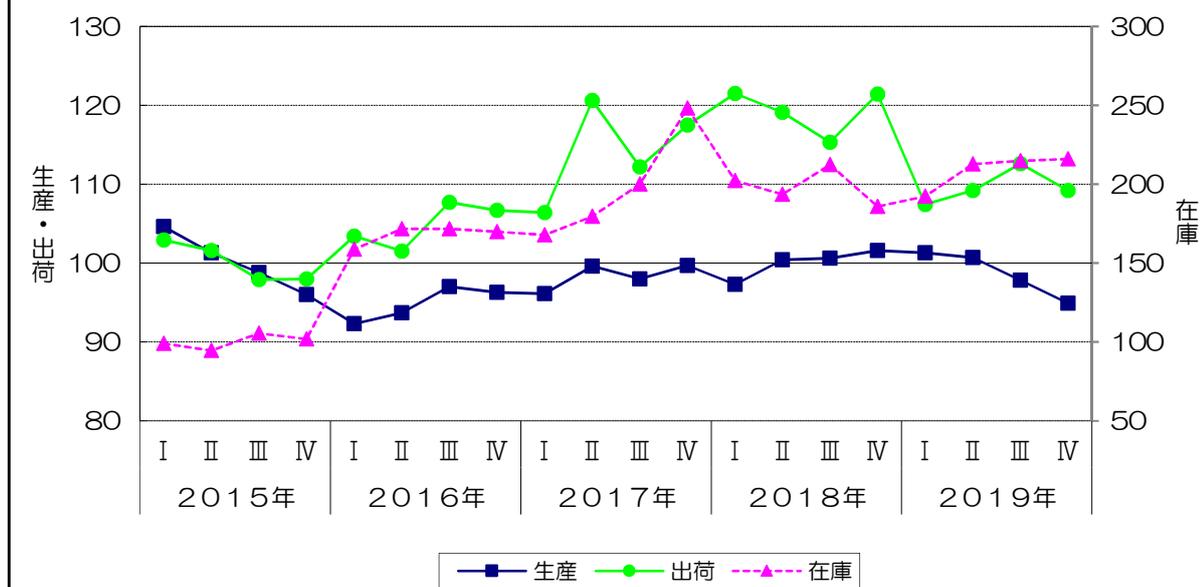
窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年				
						I	II	III	IV
生産	1000	94.7	98.4	1000	98.5	101.3	100.7	97.8	94.9
前期(年)比	▲8.1	▲5.3	3.9	1.6	▲1.5	▲0.3	▲0.6	▲2.9	▲3.0
前年同期比	—	—	—	—	—	3.3	0.5	▲2.8	▲6.5
出荷	1000	104.9	114.1	119.4	109.7	107.4	109.2	112.6	109.2
前期(年)比	▲7.3	4.9	8.8	4.6	▲8.1	▲11.5	1.7	3.1	▲3.0
前年同期比	—	—	—	—	—	▲12.8	▲9.3	▲0.7	▲8.7
在庫	1035	172.1	251.4	189.4	216.3	192.3	212.7	214.7	216.0
前期(年)比	1.2	66.3	46.1	▲24.7	14.2	3.5	10.6	0.9	0.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲7.1	10.5	3.1	14.2

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト728.8 生産19業種中5位）
2019年の生産は110.5で、前年比6.3%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、合成染料、触媒などが低下したが、
医薬品、ビスフェノールAなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト518.7 出荷19業種中5位）
2019年の出荷は119.3で、同5.8%増と2年ぶりの上昇となった。
これは、合成染料、塗料などが低下したが、
医薬品、ポリカーボネートなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1240.4 在庫18業種中2位）
2019年の在庫は97.1で、同5.3%減と3年ぶりの低下となった。
これは、塗料、無水フタル酸などが上昇したが、
ポリカーボネート、触媒などが低下したことによる。

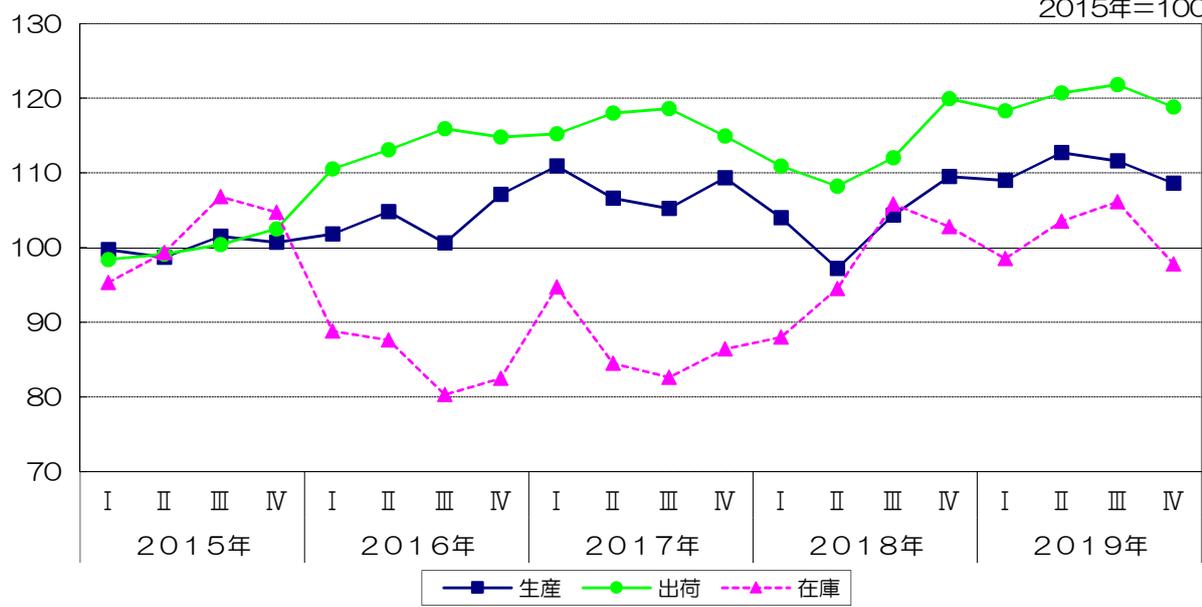
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	I	II	III	IV
	生産	100.0	103.2	108.2	104.0	110.5	109.0	112.7	111.6
前期(年)比	0.7	3.2	4.8	▲3.9	6.3	▲0.5	3.4	▲1.0	▲2.7
前年同期比	—	—	—	—	—	4.1	15.3	8.4	▲1.8
出荷	100.0	113.7	116.5	112.8	119.3	118.3	120.7	121.8	118.8
前期(年)比	▲0.7	13.7	2.5	▲3.2	5.8	▲1.3	2.0	0.9	▲2.5
前年同期比	—	—	—	—	—	6.3	10.0	8.2	▲0.7
在庫	103.6	81.9	86.2	102.5	97.1	98.5	103.5	106.1	97.8
前期(年)比	108	▲20.9	5.3	18.9	▲5.3	▲4.2	5.1	2.5	▲7.8
前年同期比	—	—	—	—	—	9.8	9.0	3.4	▲5.3

化学工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1714.9 生産19業種中2位）
2019年の生産は94.1で、前年比3.4%減と3年連続の低下となった。
これは、発泡酒（その他雑酒含む）、枝肉などが上昇したが、
ビール、その他の調味料などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1409.7 出荷19業種中2位）
2019年の出荷は92.6で、同1.8%減と3年連続の低下となった。
これは、発泡酒（その他雑酒含む）、枝肉などが上昇したが、
ビール、その他の調味料などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト821.8 在庫18業種中3位）
2019年の在庫は101.8で、同2.1%増と2年連続の上昇となった。
これは、ビール、植物油脂などが低下したが、
発泡酒（その他雑酒含む）、海苔などが上昇したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2019年			
						I	II	III	IV
生産	1000	1024	995	974	94.1	95.6	92.0	94.9	93.8
前期(年)比	3.2	2.4	▲2.8	▲2.1	▲3.4	▲1.6	▲3.8	3.2	▲1.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲4.2	▲4.5	▲2.3	▲2.6
出荷	1000	1022	996	94.3	92.6	93.1	93.0	91.8	91.7
前期(年)比	4.4	2.2	▲2.5	▲5.3	▲1.8	0.5	▲0.1	▲1.3	▲0.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.0	▲0.1	▲2.2	▲0.2
在庫	88.6	95.8	89.2	99.7	101.8	106.2	104.5	105.7	107.8
前期(年)比	8.7	8.1	▲6.9	11.8	2.1	▲2.4	▲1.6	1.1	2.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲2.1	4.4	5.6	2.1

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100

